

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、中東部支部事業の多くが中止・延期・縮小を強いられました。

誰も経験したことのない、コロナ禍ではありましたが、感染防止対策に皆様が真摯に取り組んでいただいたおかげで、何とか事業を実施することができました。

ご尽力いただきました多くの皆様に、改めて心から感謝申し上げます。

以下、重点施策を中心に実施事業を報告します。

1 県協会支部としての積極的活動

各種別の県大会等の運営について、コロナ対策を行いながら実施することが出来ました。

また、3月には全県で初めてSDGs宣言を行うことが出来ました。

2 安心・安全な環境の構築

新型コロナウイルスの影響で6月までのサッカー活動は中止となりましたが、再開後は日本サッカー協会のガイドラインに則り、毎日の検温や健康チェックシート作成、「新ルールを守って安心・安全にサッカーを楽しもう」のチラシの配布やグラウンドへのノボリの掲示など、感染防止に取り組みました。

また、万が一感染が発生した場合などの対応フローチャートをホームページに掲載するなど、感染防止や緊急時の対応等の徹底を図りました。

おかげさまで、感染者や感染の疑いが生じた方はほとんど無く、改めて皆様のご協力に感謝申し上げます。

現在、コロナが終息したわけではなく気は抜けません。今後とも細心の注意を払い、感染対策に充分取り組み、安心・安全にサッカーを楽しめるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

3 競技力・技術力向上

各種大会での成績については、清水エスパルスユースがスーパープリンスリーグ東海・クラブユース選手権東海大会・SBS カップドリームユースサッカーで優勝。清水エスパルスジュニアユースが静岡ゴールデンサッカーアカデミーU15 選手権で優勝。清水エスパルスU-12清水が全日本U-12 サッカー選手権県大会で優勝。SALFASoRs がNTT西日本グループカップ県ユースU-12大会で優勝、高部 JFC がOKAYA CUP 東海ユースU-10大会で優勝。清水FC女子が全日本U-18女子サッカー選手権県大会及び全日本U-15女子サッカー選手権県大会で優勝。と各カテゴリーを制しました。

4 清水エスパルスなどとのホームタウン推進

コロナ禍の状況下ではありましたが、Jリーグ等での応援と、支部内の大会へのエスパルスの協賛・協力等を通じ、引き続き良好な連携が図れました。今後とも良好な相互協力関係を構築していきたいと思えます。

5 競技会運営等

コロナ対応で天皇杯全日本サッカー選手権大会のレギュレーションが変更され、例年の2回戦等の運営は実施できませんでした。また、家康公記念杯清水スーパーシニアサッカー大会も感染対策を充分に行った結果として県内チームのみの大会として実施となりました。

今年度は、コロナに明けコロナに暮れた1年となり、日常の活動や多くの大会・遠征等が影響を受けました。

現在、変異ウイルスの出現や感染拡大で、感染収束を見通すことは難しい状況ですが、ワクチン接種や治療薬の開発が進み、一日も早く安心してサッカーができる日々が戻ることを願い、事業報告とします。